

平成30年11月27日

守谷市議会

議長 梅木 伸治 様

報告者 堤 茂信

平成30年度守谷市議会報告会報告書

開催日時：平成30年11月18日（日）

午後1時30分～午後4時00分

開催場所：守谷市役所 1階大会議室・中会議室

出席議員：20人

渡辺大士，砂川誠，神宮栄二，堤茂信，高梨隆，浅川利夫，
末村英一郎，渡辺秀一，長谷川信市，青木公達，佐藤剛史
山田美枝子，寺田文彦，高梨恭子，高橋典久，川名敏子
市川和代，佐藤弘子，伯耆田富夫，梅木伸治

参加者数：11人（男性10人、女性1人）

司会進行：長谷川信市

1. 決算予算特別委員会報告（委員長：末村英一郎）

説明：末村委員長が、平成29年度決算の9月定例会議会審議結果について説明を行った。

意見：守谷市は地方交付税をもらっていないと聞いているが事実かどうか。

回答：地方交付税は市町村の財政力指数に応じて交付される。現在の守谷市の財政力指数は1を超えてしまったので、来年度以降の地方交付税はゼロにはならないかも知れないが、かなり少なくなってしまう。（末村委員長）

2-1. 総務教育常任委員会（分科会）事業評価報告（委員長：青木公達）

説明：青木委員長が、ふるさとづくり寄附金事業に対する事業評価（結果：おおむね適正である）の報告を行った。

意見：昨年度、守谷市には12億円の寄附金があったということだが、2%（約2400万円）しか残らないのであれば、やらなくても良いのではないか。

回答：2%ではなく20%でした。訂正させていただきます。10億円の寄附があれば2億円が残ります。守谷市がふるさと寄附金をやめてしまえば、出ていく一方になってしまう。実際、つくば市などではふるさと寄附金のマイナスが問題になっている、守谷市としてもふるさと寄附金の制度がある以上、何かしらの対抗措置を継続する必要があると個人的には考えている。（青木委員長）

2-2. 都市経済常任委員会（分科会）事業評価報告（委員長：寺田文彦）

説明：寺田委員長が、文書配布事業及び区長制度運営事業に対する事業評価（結果：問題がある）の報告を行った。

意見：私の自治会では会員は70戸だが、文書は未加入者含めて100戸に配っている。また市の広報だけではなく、こじゅけい、社協、回覧も配っている。それをどのように配るかというのは、自治会長として結構大変な作業だと感じている。区長会議では1戸1500円では安いのではないかとという声も出ている。それを業者に委託すればさらに高くなってしまわないか。また、広報以外のこじゅけいや福祉関係の書類は誰が配るのか。

回答：文書配布の費用は、自治会の場合62～63円/戸掛かっているが、ポスティング業者に委託すれば6～10円/戸でできると聞いている。文書配布を業者に委託すれば、高く見積もっても今の半分くらいでできると考えている。（寺田委員長）

意見：自治会と役所の関係もある程度考えてほしい。ただ安くなるだけではいけないと感じている。

回答：自治会による文書配布を通じて見守りや顔の見える地域づくりもあろうかと思うが、今後立ち上がるまちづくり協議会などの活動を通じて、より魅力ある地域づくりを推し進めていきたいと思う。（寺田委員長）

意見：区長制度運営事業の説明の中で、文書配布が市と自治会との委託契約に基づくとはどういうことか教えてほしい。

回答：守谷市は158との自治会と業務委託契約を結んでおり、それに基づいて自治会が文書配布を行い、市から決まった額が委託料として支払われている。

意見：取手市では市と自治会間で委託契約はないが、150円／戸の補助金が出ている。守谷市の話しを聞かせてもらって勉強になった。

回答：守谷市においても、そういった補助金も考えていく必要があると思う。（寺田委員長）

2－3．保健福祉常任委員会（分科会）事業評価報告（委員長：高梨恭子）

説明：高梨委員長が、介護保険料賦課徴収経費に対する事業評価（結果：かなり問題がある）の報告を行った。

意見：保健センターが引っ越すとの噂を聞いている。また、福祉会館も狭くなってきたので大きくすると聞いているが、議会はどのように把握しているのか。

回答：事業評価とは異なるので、この後の意見交換会の中で質問をいただけるとありがたい。

3－1．総務教育常任委員会意見交流会

意見：こじゅけいについて、一般質問の欄をもう少しボリュームアップできないか。簡略化しすぎで、読んだ人は理解ができないと思う。もっと具体的に載せてほしい。

回答：以前の議会だよりが見にくいという意見がたくさんあった。そこで、まずは手に取ってもらい興味を持ってもらうのが大切だと考え、検討アンケート調査したところ「あきる野市」の議会だよりの評判が一番良かった。それによると一番大事なのは文字と文字との行間、空間であると聞き、今の議会だよりの形態となっている。

意見：守谷の市広報はダサイ。その点、議会だよりは頑張っているとは思っている。特にカラーになったことは評価している。また広報の発行回数が多すぎる。月1でいいと考えている。市の広報の方にも手を加えてほしい。

回答：何回も議場に足を運んでいただいている方に関しては一般質問をもっと見たいと思うが、一般の方はそこまで理解がないのではないと思う。一般質問をするに至った経緯や趣旨を少し載せてはどうかと思うがいかがか。また、イラストや写真があるが、それを取り除いて記事に紙面を割くのはどうか。

意見：今の形が読みやすいので、ページ数を増やした方が良いのではないと思う。

意見：ふるさと納税の使い方についてよくわからない。また、ふるさと納税による市税の流出金額が知りたい。

回答：流出している税額は、1億3,000万円。また、使い方は各納税者に4つの分野から選択してもらっている。その税を基金に積み立てて、翌年度の予算に反映、分配させている。守谷は返礼品の還元率が約6割～7割程度である。

意見：返礼品の購入費はどこから出るのか。

回答：一般財源から捻出している。収支決算的には納税額からの差し引きにはなるが、歳入歳出的にはそういったことになっている。また最近は年末調整に合わせてふるさと納税の駆け込み需要がある。12月まで現状で行きたかったが11月で国の水準に合わせる変更をしている。使途の割合は、おおよそだが緑化15%、地域福祉67%、教育10%、協働のまちづくり8%である。

意見：個人的な意見としては教育分野に投資してほしい。

回答：子育ては福祉の分野になるので教育にあまり充当していないということではない。教育費に関しても守谷市は元々たくさん充当している。

意見：稲戸井調整池について意見書を提出したと聞いたがその辺はどうなっているのか。またどういった用途で運用していこうと考えているのか。また市民にアンケートなどは取るのか。

回答：今回の意見書は、なかなか進まないために実は二度目の意見書であった。河川事務所長が変更されたりするのでなかなか進んでいないのが実情。また、ネックは地権者の賛同が得られないということ。3件6筆となっていて用地買収に時間を要している。造成工事は平成34年終了を待っているような状況。検討委員会は議会でも設置したが、あまりにも時間が掛かっており、一度解散している。今後5年間で具体的な案を出していこうと行政も動いている。調整池なので構造物は難しいとは言われているが所長はできるといっているような状況。

意見：常総運動公園から大利根公園についてアンケートがあったと思うが、なにか考えがあるのか。

回答：いろいろな経緯があり、農振地区であるため、何かをやるということが難しかった。しかし最近は農業も落ち着いてきたため、また有効利用の話が出てきた。

意見：スマートインターもあれば便利だと思う。

3-2. 都市経済常任委員会意見交流会

意見：デマンドタクシーには年齢制限（65歳以上）があると聞いている。そもそもモコバスは福祉バスから始まっており、（その代替手段であれば）幼児を持った母親なども含めて良いのではないか。また路線バスとモコバスが使える定期券を使っている人などもいるので、そういった人たちの意見も聞いて、初心に帰ってやっていただきたいというのが私の意見です。

回答：公共交通活性化協議会で議論してある程度の形ができてきた段階。詳細については、これから詰めることになる。また、1年間試行して改善していくことになる。

意見：昨年12月の一般質問で、市長はモコバスを廃止して、新しい公共交通に変えると発言していたが、モコバスは廃止せず併用で行くのか。

回答：白紙に戻して考える、ということだったと思う。実証実験をしながら新しい公共交通の在り方が議論されていくと思う。

意見：デマンドタクシーに興味を持っている。そのシステムがよくわからない。どのような条件でタクシー会社をお願いするのか。

回答：当面3台のデマンドタクシーで運用を開始する予定です。

意見：普通のタクシーを安く使える仕組みにできないのか。

回答：デマンドタクシーは市が借り上げて、事前登録した利用者は片道300円で利用できると聞いている。運用をしてみて問題があれば、改善していく予定。

意見：松並地区1955番地の不法投棄について、担当課に聞いたらボランティアで片づけているという話であったが、対応が必要ではないか。

回答：担当課に確認する。

意見：文書配布を業務委託するというのは、どういう考えてやっているのか。費用を下げたいというのが議会の考えか。

回答：費用を下げたい、というのが議会の考え。自治会が行っている文書配布の部分を業者にや

ってもらようよう考えている。

3-3. 保健福祉常任委員会意見交流会

意見：社協のいきいきプラザ・げんき館は手狭ではないのか。

回答：社協の建物自体が手狭であると思う。

意見：モコバスについて、高齢化のためにも便数を減らさないでほしい。

回答：現在、公共交通活性化協議会で今後の方向を決めているところ。

意見：10年20年後に向けて、市としてはどのような施策を考えているのか。

回答：人口増で発展してきたが、これから緩やかに人口が減少していく中で、子育て世代の呼び込み策や、子育てに手厚い支援や施策を考え、実施している。

意見：図書館などに障がい者駐車場が少なく、5回に1回しか停められない。もう少し増やしてほしい。

回答：高齢者も使っているのも一因と思われる。ご意見として伺い、今後の参考とさせていただきます。

意見：保健センターの移転話しはあるのか。

回答：修繕の方向であると旨の説明を受けたが、正式にそのような話は聞いていない。

意見：守谷を拠点として働けるよう、守谷市の企業にもお金を使ってほしい。

回答：ご意見として伺っておく。

意見：高齢者が働けるよう、シルバー人材センターや守谷で（高齢者が働ける）事業を展開しているところを支援して行ってほしい。

回答：ご意見として伺っておく。

以上